

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成20年9月11日(2008.9.11)

【公表番号】特表2008-507961(P2008-507961A)

【公表日】平成20年3月21日(2008.3.21)

【年通号数】公開・登録公報2008-011

【出願番号】特願2007-522989(P2007-522989)

【国際特許分類】

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

A 6 1 K 35/12 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 5/00 B

A 6 1 K 35/12

A 6 1 P 35/00

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月22日(2008.7.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

腫瘍壊死因子関連アポトーシス誘導リガンドを発現する、樹状細胞ではない腫瘍帰巢細胞。

【請求項 2】

腫瘍帰巢細胞に腫瘍壊死因子関連アポトーシス誘導リガンドをコードするアデノウイルスベクターを形質導入することによって得ることが可能な、請求項 1 に記載の細胞。

【請求項 3】

腫瘍帰巢細胞が、成長因子で処置されたがん患者の末梢血から採取した C D 3 4 ⁺ 造血細胞；末梢血から採取した N K 細胞；末梢血単核球の生体外培養によって得たサイトカイン誘導性キラー細胞（C I K）；内皮細胞及び内皮前駆細胞；腫瘍浸潤リンパ球（T I L）；リンホカイン活性化キラー細胞（L A K）；マクロファージ；間葉系幹細胞（M S C）から選択される、請求項 1 又は 2 に記載の細胞。

【請求項 4】

N K 細胞又は C D 3 4 ⁺ 細胞に腫瘍壊死因子関連アポトーシス誘導リガンドをコードするアデノウイルスベクターを形質導入することによって得ることが可能な、請求項 3 に記載の細胞。

【請求項 5】

請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の細胞を、生理的に許容可能なビヒクルとの混合物で含有する細胞製剤。

【請求項 6】

請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の細胞を含む、腫瘍治療用医薬。

【請求項 7】

腫瘍がリンパ腫である、請求項 6 に記載の医薬。

【請求項 8】

腫瘍が乳癌である、請求項 6 に記載の医薬。

【請求項 9】

静脈内投与される、請求項 6、7 又は 8 に記載の医薬。